

●インターンを経て研究生活、そして社会人へ

長岡技術科学大学では、実際の業務に携わるインターン制度があり、私は2年前にアルメックで3期目のインターン生として約5ヶ月間お世話になりました。インターン中は、主に都市マスタープラン策定業務を中心に様々な仕事を実際に体験することができ、その後の大学での研究や就職活動で大きく役立ちました。おかげさまで、昨今の厳しい就職状況の中、建築設備会社から内定を頂くことができました。

現在私は、長岡技術科学大学都市計画研究室の一員として、平成12年の都市計画法改正で制度化された、非線引き都市計画区域の用途地域外での地区計画について研究しています。緩規制地域の土地利用規制誘導策としてはもちろん、都市計画区域全域に地区計画を策定している地区があることから、都市の将来像を積極的に実現する手法としての利用法が期待できます。最終的には都市計画法改正の一翼を担う研究にしたいと考えています。

新年度からはいよいよ社会人になります。大学生活とインターンで学んだことを糧に頑張っていきます。

内木場正樹（長岡技術科学大学大学院工学研究科 都市計画研究室）

●東北新幹線全線開業

昨年12月4日に東北新幹線が全線開業し、それまでの八戸駅までから本州最北の要地、青森まで残り約80kmが完成しました。早速、この年末年始に函館へ帰省するため、往路にこのルートを選択してみました。東京から新青森まで東北新幹線「はやて」で3時間半。ちなみに空路を選択した場合、羽田ー青森が1時間20分、搭乗前／後の予備時間をそれぞれ1時間とすると、ほぼ同時間となります。料金は年末年始の繁忙期で空路の約6割です。

3月には新型高速新幹線車両の「はやぶさ」が導入され、東京ー新青森が3時間10分に、更に2015年度には新函館駅まで開通し、東京ー新函館は4時間弱で結ばれます。函館市内では至る所に新幹線開通に期待を寄せる文字が踊り、地元では早くもカウントダウンの様相です。また、年末年始の本州からの観光客やホテルの稼働率も好調だとの報道もあり、その恩恵は早くも現れているようです。

今回乗った感想ですが、時間や料金に加えて、やはり本州が「一筆書き」で繋がったことの満足感／安心感は非常に高いものがありました。青函トンネル開通の23年前から始まり、北海道が高速鉄道で本州と繋がるまであと4年、北海道人の長年の悲願まであと少しです。

近年、高速道路、リニア、LCCなど、広域交通を取り巻く話題が日本の成長戦略として位置づけられ、その期待感に包まれています。日本の広域交通インフラは既に整っているとの意見も聞かれますが、やはり“早く快適に移動する”ことへの人間の要求に対し、まだまだ応えていくべきではないかと思えます。

坂本裕之（第一計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>